

49th  
2019/10/12・13 zenkoku  
shakai  
fukushi  
kyoiku  
seminar

第49回全国社会福祉教育セミナー 2019 in 愛知



## 大会テーマ

「これからの時代の  
ソーシャルワーク教育を展望する」

## 主催・共催

主催：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟  
共催：日本福祉大学

## 後援（予定）

厚生労働省 文部科学省 法務省 内閣府  
社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会 公益社団法人日本社会福祉士会 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 公益社団法人日本医療社会福祉協会 公益社団法人日本介護福祉士会 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 認定社会福祉士認証・認定機構 全国福祉高等学校長会 ソーシャルケアサービス研究協議会 一般社団法人日本社会福祉学会 日本地域福祉学会

## 開催趣旨

ソーシャルワークの専門職である社会福祉士・精神保健福祉士には、課題を抱えた個人や世帯への包括的な支援のみならず、地域住民等とも協働しつつ多職種と連携しながら、潜在的ニーズに対応することが求められています。また、地域共生社会の実現や地方創生に向けて、人材の確保や育成が困難な地域において、地域住民等との連携を実践的に学び、個人、世帯、地域のアセスメントを行うとともに、地域に必要な社会資源の検討及び開発を行う役割を担うことが求められています。

社会福祉士及び精神保健福祉士の教育内容の見直しが行われている今、このような社会的要請や期待に応えることができる人材の養成・育成のあり方について検討・共有し、関係者一人ひとりがステークホルダーとして具体的な行動につなげていくための機会とします。

## タイムテーブル

	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
1日目 (10月12日)	受付	特別企画 スーパービジョンの力 S 402	(休憩)	受付 (休憩)	基調講演 ソーシャルワーカー養成教育への期待 S303	行政説明 新カリキュラムの概要 S303	(休憩)	シンポジウム 地域を基盤としたソーシャルワークを展開できる人材の必要性と養成のあり方 S303	情報交換会 Let's情報交換 1Fラウンジ	ヤングフォーラム	Midnight Salon 2019 with K 学外 【別途会費制】		
	受付	分科会（第Ⅰ部） 第1：S 301（実習教育） 第2：S 303（合理的配慮） 第3：S 401（教授法総論） 第4：S 304（理論等）	ランチョンセミナー (&休憩)	分科会（第Ⅱ部） 第5：S 401（演習教育） 第6：S 304（大学院） 第7：S 303（高大連携） 第8：S 301（地方創生）									

## プログラム（発表者・会場は都合により変更になる場合があります）

### 1日目

#### 特別企画

09:30～/ S402

#### 『ソーシャルワーカー養成教育において教員に求められるスーパービジョンの力』

地域共生社会の実現や地方創生に向けて、地域住民等とも協働しつつ多分野多職種と連携し、社会資源開発等を展開する役割を担うことが求められています。社会福祉士及び精神保健福祉士の教育内容の見直しが進められている今、このような役割を担うことができるソーシャルワーカーの養成・育成を行う教員に求められるスーパービジョンの力とは何かを共有する機会とします。

講師：岡田 まり（立命館大学）／田村 綾子（聖学院大学・ソ教連理事）／藤林 慶子（東洋大学）

#### 基調講演

13:15～/ S303

#### 『これからの人づくり・地域づくりを担うソーシャルワーカー養成教育への期待』

社会福祉法人を経営する立場からこれからの福祉人材の養成・育成並びに地域づくりについて新たな視点や示唆を共有すると共に、協働して取り組んでいくためのビジョンを共有します。

講師：谷村 誠 氏（全国社会福祉法人経営者協議会副会長 社会福祉法人みかり会理事長）

#### 行政説明

14:30～/ S303

#### 『社会福祉士及び精神保健福祉士養成の新たなカリキュラムについて』

社会福祉士及び精神保健福祉士のカリキュラム等の改正を踏まえ、改正の背景並びに新カリキュラムのねらいや教育内容等を共有します。

説明：厚生労働省 担当者（調整中）／ 第Ⅰ部 社会福祉士養成 第Ⅱ部 精神保健福祉士養成

## シンポジウム 15:45 ~ / S303

## 『地域を基盤としたソーシャルワークを展開できる人材の必要性和養成のあり方』

個別支援と地域支援を統合的に展開し、地域共生社会の実現にむけたソーシャルワークを展開できる人材の必要性が指摘されている中で、これから養成施設や大学における教育改革や教育実践の展開の方向性について、本連盟が取組んできた調査研究事業の結果を踏まえ提言を行うと共に、参加者と共有する機会とします。

シンポジスト：原田 正樹（日本福祉大学）／大塚 ゆかり（山梨県立大学）／畑 亮輔（北星学園大学）

指定討論者：大橋 謙策（テクノエイド協会） コーディネーター：中谷 陽明（桜美林大学・ソ教連常務理事）

## 情報交流会 18:30 ~ 20:00 / 1Fラウンジ

これからのソーシャルワーク専門職養成について情報交換しましょう。

## Midnight Salon 2019

20:00 ~ / 学外

【別途会費制】次世代のソーシャルワーク教育を担う30～40代の方へ。

スペシャルゲスト『K』氏をお迎えし、これからのソーシャルワーカー養成や福祉の未来について語りましょう。

## 第1分科会 S301

## 『実習評価を考える～地域共生社会推進の担い手のための「実習教育」とは～』

社会福祉士及び精神保健福祉士資格を有するソーシャルワーカーの養成にとって「相談援助実習」を中核とする実習教育の重要性が指摘されて久しいですが、全国的にみて、そのミニマムスタンダードは確立されたでしょうか。また昨今の「個と地域の一体的支援」を視野に入れた実習内容はどのように展開されているのでしょうか。ここでは実習評価に焦点を当て、実習前評価・実習中・実習後評価の流れの中で、これらの問題について検討します。

報告者：池田 雅子（北星学園大学）／福富 昌城（花園大学）／藤井 美子（宮城県名取市東地域包括支援センター）

コーディネーター：白川 充（仙台白百合女子大学）

## 第2分科会 S303

## 『障害のある学生への合理的配慮と教育機関における基盤整備』

障害学生支援が法的義務となり3年目を迎えるようになっていますが、支援体制を立ち上げたもののコーディネーターの業務や学内連携に課題を抱える大学等が少なくありません。本分科会では国立大学と私立大学並びに専門職養成教育における基盤整備に向けた歩みについて話題提供を行うとともに、分科会参加校の情報交換や問題解決に向けた協議を行います。

報告者：船越 高樹（京都大学）／岡岡 美紀子（明治学院大学）／岡崎 利治（川崎医療福祉大学） コーディネーター：柏倉 秀克（桜花学園大学）

## 第3分科会 S401

## 『アクティブラーニング・教授法総論』

本分科会は、アクティブラーニングの基本的枠組み、さらには、可能性を知ることによって、演習はもとより、講義等の授業への導入をめざします。具体的には、アクティブラーニングに精通している講師より、アクティブラーニングの概要、アクティブラーニングを用いた授業の実践について、ワークショップ形式で展開します。また、明日からの授業に、部分的にでも活用できるよう、トークや質疑応答の時間もあります。

報告者：仲道 雅輝（愛媛大学） コーディネーター：青木 聖久（日本福祉大学）

## 第4分科会 S304

## 『理論・歴史・政策にも強いソーシャルワーカーの養成（理論等をどう教えるか）』

ソーシャルワークのグローバル定義では、「ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である」とされています。本分科会では、養成校・養成施設の社会福祉理論・歴史・政策の科目領域における教育内容について、社会福祉士及び精神保健福祉士カリキュラム見直しをふまえた意見交換を行います。

報告者：竹端 寛（兵庫県立大学）／伊藤 新一郎（北星学園大学） コーディネーター：伊藤 文人（日本福祉大学）

## &lt;休憩&gt;

## ランチョン・セミナー 12:10 ~ 12:50 / 501Fラウンジ

## 『国家試験対策の部屋～会員校の取組みから～』

社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験対策について、工夫、課題等について意見交換を行います。

話し手：仲井 達哉（川崎医療福祉大学）／岡崎 利治（川崎医療福祉大学） 進行：樽井 康彦（龍谷大学）

## 第5分科会 S401

## 『ソーシャルワーク演習教授法を考える』

社会福祉に求められる要請を踏まえながら、多様化する学生を対象としてソーシャルワーク演習を効果的に行うためには、教員の教授力の向上が不可欠となります。本分科会では、教員が必要になると考えられるグローバル定義の演習、マクロソーシャルワークの演習、教授法のトレーニングについて報告し、参加者との意見交換を行います。

報告者：グローバル定義の演習 Virág Viktor（長崎国際大学・APASWE 理事）／マクロソーシャルワークの演習 高良 麻子（東京学芸大学）

教授法のトレーニング 庄司 妃佐（和洋女子大学） コーディネーター：保正 友子（日本福祉大学）

## 第6分科会 S304

## 『大学院におけるソーシャルワーク専門職教育の展開 ～認定社会福祉士制度改革に対応して～』

現在、認定社会福祉士認証・認定機構「タスクフォース」が認定社会福祉士制度改革の具体案づくりを行っています。この改革では、ソ教連会員の大学院が積極的役割を果たせるようになり、報告書は9月にまとまる予定です。本分科会ではそれについて紹介すると共に、認定社会福祉士養成の「先進校」と「挑戦校」の事例報告を行います。

報告者：二木 立（日本福祉大学・ソ教連相談役）／大島 巖（日本社会事業大学）／福島 喜代子（ルーテル学院大学）／高橋 信行（鹿児島国際大学）

コーディネーター：二木 立／大島 巖

## 第7分科会 S303

## 『高校における福祉教育の取組みと教育機関に求められる役割と期待』

～人材育成を含めた高大連携のあり方を探る～

高等学校における福祉教育の取組みや生徒の活躍を広く紹介し、福祉系大学や養成施設が果たすべき役割や支援内容等を考えると共に、高校と大学等との効果的な接続・連携のあり方を検討する機会とします。

報告者：福祉科高等学校より／福祉系高等学校（総合）より／小林 洋司（日本福祉大学）／中野 伸彦（長崎ウエスレヤン大学）

コーディネーター：山屋 春恵（常葉大学） コメントーター：矢幅 清司（文部科学省）

## 第8分科会 S301

## 『地方創生に向けたソーシャルワーカー養成校・施設及び現場への期待と役割』

～協働による人づくりと地域づくり～

地域共生社会の実現や地方創生の推進に向け、人づくりや地域づくりにおいて当該地域の関係者がステークホルダーとしてそれぞれの役割を發揮している実践を共有する機会とします。

報告者：五嶋 仁（社会福祉法人 大樹会）／工藤 英明（青森県立保健大学）／照井 直樹（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）

コーディネーター：空閑 浩人（同志社大学・ソ教連理事）

# 第 49 回全国社会福祉教育セミナー 2019 in 愛知

『これからの時代のソーシャルワーク教育を展望する』

## <考えてみましょう>

### < 問題 >

のどかないなか道を  
小さな子どもがひとりで歩いています。  
あなたはソーシャルワーカーとして  
この写真からどのような  
未来が見えますか？  
2040年の人びとの  
暮らしについて  
800字程度で  
述べなさい



## 開催日

2019年10月12日(土)・13日(日)

## 会場・定員

日本福祉大学  
東海キャンパス

定員：350名

(愛知県東海市大田町川南新田 229)

## 参加費

申込区分	種別	事前申込 (～9/13(金)まで)	当日
	大学・養成校等教職員	16,000円	20,000円
	高校教員、大学院生、福祉従事者・利用者、福祉に関心のある一般の方	6,000円	15,000円
	大学学部生、養成施設学生、高校生	2,000円	15,000円
	情報交換会(セミナー参加登録者のみ参加可)	4,000円	—

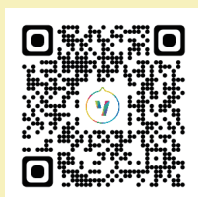
※宿泊予約代行・宿泊先情報の提供は行っておりません。各自でお手配いただきますようお願い致します。

## 参加申込方法

PCの方は、特設  
サイトよりお申込み  
ください。

→ <http://www.jaswe.jp/seminar>

スマホの方は  
こちらから

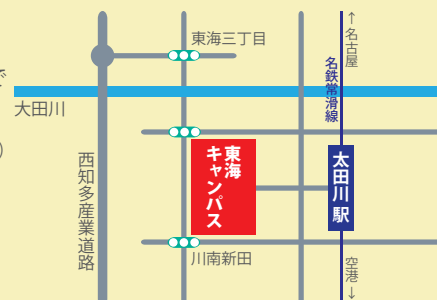


## アクセス

名古屋駅から名鉄常滑線で  
太田川駅下車(約17分)

中部国際空港(セントレア)  
から名鉄電車で太田川駅  
下車(約20分)

太田川駅から徒歩約5分



日本ソーシャルワーク教育学校連盟  
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

〒108-0075 東京都港区港南 4-7-8 都漁連水産会館 5階  
tel : 03-5495-7242 E-mail : jimukyoku@jaswe.jp